

# 日野菜の生産振興と GI認定に向けた組織強化

東近江農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

日野町における日野菜の栽培面積は、平成30年度には6.3haでしたが、JAグリーン近江が日野菜加工施設を整備され、令和3年度には8.6haまで面積拡大しました。しかし、生産者の高齢化が進み面積拡大が伸び悩んでいることから、JAグリーン近江日野菜生産部会を対象に、生産振興と地理的表示(以下「GI」)の取得を支援し、組織強化を図りました。



写真1 GIを取得

## 【普及活動の内容】

JA日野菜生産部会役員と関係機関による「日野菜調整会議」を毎月1回開催し、生産振興への意識統一を図り生産拡大と収量向上を進めました。

また、日野町役場やJAとともに、病害虫の発生と生育状況に応じて週1～2回、日野菜ほ場を巡回し(写真2)、その内容を『日野菜情報』(8回発行)にまとめ、全会員60名に向けて発行しました。



写真2 週2回の現地指導

GI取得支援については、エビデンス(科学的根拠)資料作成を行うとともに、研修会を開催してGIを運用する上でのルールづくり等をJA日野菜生産部会に対して助言しました。

## 【普及活動の成果】

令和4年10月21日、日野菜がGI認証に登録されました。出荷ルールに従ってGIシールが貼られた「近江日野産日野菜」は、京都の高級料亭と東京の高級野菜店にも出荷されています。GIの適切な運営が始まることで生産者の生産振興への意欲も向上しました。今年度の栽培面積は7.4haとなりました。新たに1つの集落営農法人が栽培を始められ、日野菜への関心が広がっています。今後も、GI取得を追い風に作付を推進していきます。

### ◎対象者の意見

日野菜がGI認定されマスコミに大きく取り上げられました。これを契機に日野菜の栽培拡大を進めたいです。(JAグリーン近江日野菜部会役員)